

第1回旅客機・エアライン検定
2級解答 (2019年11月6日更新)

※黄塗部分に関しては次項にてご説明差し上げます。

問題番号	正解	問題番号	正解	問題番号	正解	問題番号	正解
1	1	21	3	41	2	61	1
2	3	22	3	42	1	62	3
3	1	23	1	43	1	63	1
4	2もしくは4	24	全員正解	44	2	64	全員正解
5	2	25	3	45	1	65	2
6	4	26	2	46	4	66	2
7	3	27	3	47	2	67	4
8	1	28	2	48	3	68	3
9	1	29	3	49	4	69	1
10	4	30	1	50	4	70	3
11	2	31	全員正解	51	2	71	3
12	1	32	4	52	3	72	4
13	3	33	3	53	1	73	4
14	3	34	2	54	3	74	3
15	4	35	全員正解	55	1	75	4
16	4	36	2	56	4	76	2
17	3	37	4	57	1	77	1
18	2	38	2	58	2	78	1
19	2	39	全員正解	59	4	79	3もしくは4
20	3	40	4	60	1	80	1

この度は、第1回旅客機・エアライン検定の問題作成におきまして、校正の漏れが発生し、受験者の皆様に多大なるご迷惑をおかけしました。大変申し訳ございませんでした。

下記に、誤りのあった問題・選択肢を訂正するとともに、前頁にあります通り、採点させていただきます。

問 002 (原文)

1932年にドイツの航空メーカーであるユンカースが製造した「タンテ・ユー」の愛称で知られる全金属製の飛行機の名前は何か。

- ① Ju50
- ② Ju51
- ③ Ju52
- ④ Ju53

※問題文に誤りがありましたが、ユンカースが製造した飛行機で「タンテ・ユー」の愛称で呼ばれる飛行機は、選択肢の中では③Ju52のみであるため、解答に変更はございません。

(正しい問題文)

1930年にドイツの航空メーカーであるユンカースが製造した「タンテ・ユー」の愛称で知られる全金属製の飛行機の名前は何か。

(正解)

- ③ Ju52

問 004 (原文)

旅客機の性能、能力を表す指標として「航続距離」があるが、航続距離に関する説明として正しいものはどれか。

- ① 航続距離とは、燃料 10 万 l を搭載した状態で一度に飛ぶことができる距離である。
- ② 基本的には機体の大きさに応じて航続距離は長くなる。そのため、燃料タンクの増設などを行い長距離仕様にする必要がある。
- ③ 一般的に旅客機就航では短距離路線、中距離路線、長距離路線という区別が存在し、国は基準を明確に設けている。
- ④ ヨーロッパにおける基準では、4000 km 以上を長距離ルートとし、アメリカでは 3000 マイル以上を長距離とする。

※選択肢②・④とも正しい内容のため、どちらも正解といたします。

問 024 (原文)

現在の航空路は GPS を利用した RVAV 経路 が主力であるが、従来の VOR/DME 経路と比較して、可能となったことのうち、間違っているものはどれか。

- ① 目的地まで最短ルートを決めるようになった。
- ② 航空路の複線化・複々線化できるようになった。
- ③ 航法の精度を統一することができるようになった。
- ④ 円弧を描く航空路を設定できるようになった。

※問題文の誤りによって正解が導けないため全員正解といたします。

(正しい問題文)

現在の航空路は GPS を利用した RNAV 経路 が主力であるが、従来の VOR/DME 経路と比較して、可能となったことのうち、間違っているものはどれか。

(正解)

- ③ 航法の精度を統一することができるようになった。

問 031 (原文)

滑走路の両端には必ず 2 桁の数字が書かれている。「00」の反対側には何と書いてあるか。

- ① 09
- ② 15
- ③ 27
- ④ 36

※問題文の誤りによって正解を導けないため、全員正解といたします。

(正しい問題文)

滑走路の両端には必ず 2 桁の数字が書かれている。一方に「09」と書いてある滑走路の場合、反対側には何と書いてあるか。

- ① 00
- ② 15
- ③ 27
- ④ 36

(正解)

- ③ 27

問 035 (原文)

パイロットが着陸を決断する高度を「デシジョン・ハイト」というが、通常は高度何フィートの地点に設置されているか。

- ① 40 フィート
- ② 60 フィート
- ③ 80 フィート
- ④ 100 フィート

※テキストに誤りがございました。正解は「60 メートル」であり、選択肢の中に正解がございませんので、全員正解といたします。

問 039 (原文)

1930 年にボーイング・エア・トランスポートが客室乗務員の乗務を開始したがその時の客室乗務員の名称は何か。

- ① フライトガール
- ② フライトナース
- ③ フライトメイド
- ④ フライトサポーター

※1930 年のボーイング・エア・トランスポートの客室乗務員は看護師だったため、正解は②フライトナースとしておりましたが、正しい名称は「Air nurse (エアナース)」でした。問題として不適切でしたので、全員正解といたします。

問 060 (原文)

次の説明に当てはまるエアラインはどれか。

2003年に設立したアブダビの国営航空。機内サービスの豪華さには定評があり、中でも「ザ・レジデンス」はファーストクラスを超える3部屋スイートとなっている。

- ① エティハド航空
- ② カタール航空
- ③ エミレーツ航空
- ④ シルクエアー

※問題文に誤りがありましたが、内容より①エティハド航空が明らかであるため、①を正解といたします。

(正しい問題文)

2003年に設立した UAE の国営航空。機内サービスの豪華さには定評があり、中でも「ザ・レジデンス」はファーストクラスを超える3部屋スイートとなっている。

(正解)

- ① エティハド航空

問 064 (原文)

日本貨物輸送の IATA コードはどれか。

- ① KG
- ② JK
- ③ KZ
- ④ JZ

※問題文の誤りがございました。正解が導き出せないため、全員正解といたします。

(正しい問題文)

日本貨物航空の IATA コードはどれか。

(正解)

- ③ KZ

問 079 (原文)

日本のコンピューター航空会社フジドリームエアラインに関する文章として、間違っているものはどれか。

- ① 総合物流会社である鈴与が 100%出資して、2007 年に設立。
- ② 2010 年以降、日本航空と業務協力関係にある。
- ③ 機体はボンバルディア CRJ で 14 機保有。
- ④ 機体は 14 機すべて異なるカラーリングが塗装されている。

※正解は③ですが、14 機の中にはグリーンの塗装が 4 号機と 11 号機の 2 つございました。よって、④も正解となります。

【旅客機・エアライン検定運営事務局】

電話：03-3233-4808

(土・日・祝日・年末年始を除く 10:00~12:00 及び 14:00~17:00)

Eメール：info_kentei@nippan.co.jp

【その他テキストに関するご質問】

株式会社 徳間書店 第一制作局 編集プロデュース部

安田宣朗

電話：03-5403-4350 (内線 1058)

Eメール：yasuda-n@shoten.tokuma.com